



昔の人は口々に「昔は大きい魚がいたものだ・」と口にする。それは、私もなんとなくそう思う。前回出てきたヒラスズキもやはりその一つで、最近では大型と言われる魚と出会うのが難しくなっている。

さかな釣り



ある考えによれば大きく育つ個体(魚)は決して沢山の餌を食べる事により大きく育つのではなく、あくまでも遺伝的なものなのだ。そう、親となる魚が大型なら子も大型に育つという考えだ。

私が初めて釣り上げたヒラスズキはもう20年も前、高校2年生の12月13日金曜日、太く重い投げ竿でルアーを投げ、芦辺町馬ノ瀬の、波が当たり青白くサラシが広がる箇所を狙っていた。釣り始めて間もなく重たくゴミが掛かった様な感触が伝わってきた!「?」と感じた次の瞬間、物凄い勢いで魚が頭を振り、飛び跳ねた。

必死で引きに耐え、磯際にずり上げたヒラスズキを素手で掴んだ瞬間に波が来て、のまれないように竿を持った手で岩に掴まってタ

や釣法の進化、そして魚の釣れるデータが多様化している現代、せめて個人的な感覚で良いので乱獲にならない釣りを心がけたいものです。

12月だと言おうの全身びしょ濡れ、ヒラスズキの口の鋭く、素手で掴んだ血だらけ、安全など全くとってなかつたあの日。しかし、釣り上げた魚は90センチ。今だに初めて釣ったヒラスズキの自己記録は破られない。

投稿

「敬老の日」に寄せて

篠崎 義孝

昭和二十九年に「老人の日」が定められ慰労の催しが行われていたが、昭和四十年四月から「敬老の日」と定め国民の祝日となった。以来毎年、敬老行事が全国的に行われている。私達の氏神様では、例大祭に併せて長寿祈願で老人も参拝している。敬老祝宴では出席するが、いつもにこにこして同席する知人の男性と、談笑しながら世間

話で楽しいひとときを過ごしていた。彼は、村役職員時代より親交してきた人物であった。長寿の秘訣を伺ったら、日常生活では食事が大事でよく飲食することだと話された。

お酒をお酌すると、天目盃でぐいぐいと飲んですつと返されるのであった。彼は103歳の長寿を全うされ他界された。

絵や写真、書、詩、俳句、短歌、川柳など、多くの作品をお待ちしています。ふるって応募して下さい。お待ちしております。(株) 吉岐新報社



【結核とはどんな病気?】  
結核菌が体の中に入ることによって起こる病気です。結核菌の混じった痰が、咳・くしゃみと一緒に空気中に飛び散り、この菌を吸い込むことによって感染します。

【どんな治療をする?】  
早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで

【どんな治療をする?】  
早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで

【どんな症状?】  
初期症状は「風邪」に似てい

【どんな治療をする?】  
早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで

【どんな治療をする?】  
早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで



古事記編纂1300年記念イベントより「吉岐神楽」

あしべ文芸第214号 俳句作品集より



台風はとおく東へ去りゆきて夜のしじまは葉すれさえなし  
ナス・トマト朝の菜畑見廻ればゆうべの雨に花実のびやか  
村田裕子

腰迄に海に入りて箱眼鏡覗けば岩にウニウニウニが早速一ケ手に取ればウニは小さく選び取りぬ  
前田昌子

拒むごと棘の多かり鬼アサミ終にはやわらかき綿毛となりて  
木下春枝

十余年吾を癒してくれた犬小雨降る日に突然逃げり  
末永孝子

郭公の鳴く声聞けば懐かしき友と訪ねし尾瀬の夏山毎朝の田の見廻りを生き甲斐に八十路の翁バイクにまたがる  
深見弘美

コンサート終わって見上ぐ星空は音符のように広がりにており  
金丸咲子

初めの海に出会い幼等を波は遊ばせ友達にする  
金丸咲子

初撒きを終えて吉野桜の花の下家族皆で昼食樂し  
佐賀錦届きて夫は笑顔なりふる里の味家族にふるま

大雨を予知できるのか弁慶蟹の流されぬよう岸登り来る  
町田典子

重き荷と旅に出た子に夜の電話どこか遠くに降ろしておいで  
下条八知子

早朝の畑延びるきゆうり姿よくあの人あの子配りてみたし  
テレビ前連れは飲みつつプロ野球裏番組は食べ歩き旅



古事記編纂1300年記念イベントから「天比登都柱」 小林芙蓉書

結核を予防しよう!

9月24日〜30日は、「結核予防週間」です。結核は戦前、戦後の日本で「不治の病」と言われて恐れられてきました。今やその患者数は減少し過去の病気と思われがちですが、依然として主要な感染症であり、日本は世界の中でも中蔓延国とされています。平成23年には、国内で約2万2500人の結核患者が発生しており、約2000人の方が結核で亡くなっています。そして、私たちが住んでいる長崎県では297人の患者が発生しており、結核罹患率(発生割合)は全国平均が17.7%に比べて、長崎は21.0%と高い数値を示しています。

【結核を予防しよう!】

- ▽咳や痰が2週間以上続く
- ▽微熱が続く
- ▽体がだるい
- ▽胸に痛みがある
- ▽体重が減る

これらの症状は、気管支炎や肺炎にも共通する症状です。早めに医療機関を受診しましょう!

【どんな治療をする?】

早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで

【どんな治療をする?】

早期に発見すれば、現在ではほとんどが化学療法で改善できます。複数の薬を6〜9ヵ月間、最後まで飲み続けられれば、ほとんど再発することはないほど完全に治せます。ただし、一旦途中で薬を止めてしまうと、耐性(菌が薬に対して強くなり、薬が効かなくなる)がで